

図書空間で
つなぐ&楽しむ
研究交流



旅の図書館
開設40周年記念
特別企画



公益財団法人日本交通公社
旅の図書館
LIBRARY OF TOURISM CULTURE

たびとしょ
Cafe

旅の図書館では、観光に関わる皆様の交流を深めていただくことをねらいとして、「たびとしょ Cafe」を開催しています。



第15回

古書から学ぶ未来へのヒント

— 日本の観光の課題とこれから —

ゲストスピーカー:西村 幸夫 氏(神戸芸術工科大学 教授)

旅の図書館は2016年の移転・リニューアルを機に古書・貴重書の整理を進めています。改めて、古書から歴史をひもとくと、現代にも通用する考え方や思わぬ発見があり、アイデアの宝庫であることに気づかされます。

今回は、日本の都市計画学の大家であり、長年にわたり日本の町並み保存や歴史まちづくりに寄り添われてきた西村幸夫先生をお招きします。

ご著書でも「観光客が伸びているまちに共通しているのは、いずれのまちにも歴史があり、まちとしての厚みがあることである。住みたくするようなまちが人をひきつける。」と述べられていますが、先生ご自身が歴史からどういったことを学ばれてきたのか、さらには歴史を知ることによって見えてくる日本の観光の課題や今後の観光のあり方について考えてみたいと思います。



◆ゲストスピーカープロフィール◆

1952年福岡市生まれ。東京大学都市工学科卒、同大学院修了。工学博士。専門は都市計画、都市保全計画、都市景観計画など。明治大学助手、東京大学助教授を経て、東京大学大学院教授、2018年より現職。和歌山県景観審議会会長、千代田区景観まちづくり審議会会長、フランス国立社会科学高等研究院客員教授、世界遺産記念物会議 (ICOMOS) 副会長、中華民国文化省名誉顧問、先端科学技術研究センター所長などを歴任。著書に『西村幸夫 風景論ノート』(鹿島出版会,2008年)、『都市保全計画』(東大出版会,2004年)、『西村幸夫 文化・観光論ノート 歴史まちづくり・景観整備』(鹿島出版会,2018年)、『西村幸夫 講演・対談 集まちを想う』(鹿島出版会,2018) など多数。(公財)日本交通公社評議員・専門委員。

日時 2018年10月16日(火) 17:30 ~ 19:30

※17:00より旅の図書館のご案内をします。参加ご希望の方は16:50までにお越しください。

場所 (公財)日本交通公社 B1F ライブラリーホール

〒107-0062 東京都港区南青山 2-7-29 日本交通公社ビル

対象 観光研究者、観光実務者、学生
(観光行政に関わる方、地域の観光関係者) など

定員 50名程度

参加費 無料

申込方法 当財団ホームページの申込フォームよりお願いいたします。

<https://www.jtb.or.jp/library/event>



主催・問い合わせ先:公益財団法人日本交通公社 たびとしょ Cafe 事務局 担当:福永・泉

〒107-0062 東京都港区南青山 2-7-29 日本交通公社ビル

TEL:03-5770-8360 FAX:03-5770-8359 E-mail: tabitosho@jtb.or.jp